

# 解 答 速 報

## 兵庫医科大学 一般選抜

## 小論文

今回の小論文は、松本遼太郎「有効求人倍率」が高ければ景気は回復しているといえるのか？データから事実を読み解くスキル」日経 BP、p44-49より 改変引用・・・から出題された。

資料文（図1、図2含む）は、A4が2枚、設問が1枚であった。4問。設問1～3はそれぞれ、下線部について問われている。問4は400字以内で自分の考えとその理由を述べる。

2023年度、2022年度の出典と設問を最後につけ有るが、この3年とも医療に関するテーマではない。知識がなくてもその場で読解し社会や他者を考える力があれば十分だからである。今回は厚労省のサイトを調べると色々なデータが出て来るが、試験中は資料文で十分対応できる。

### 小論文作成の手順

先に問を読み、資料文の量や出典を確認する。

制限時間から5分引いた上で、4問作成に対するおおよその時間配分を決めておく。

（5分は切羽詰まったときの余裕分）

◇実際に問を示すので読んでみよう。

設問1 下線部①について、2018年、2019年の有効求人倍率は、それぞれ約1.6倍、約1.55倍だった。2020年以降の倍率はどうなったと考えるか。あなたの考えを、その理由を含めて100字以内で述べなさい。

設問2 下線部②について、同様の内容を示す言葉を文中から4文字で抜き出しなさい。

設問3 下線部③について、なぜそのように言えるのか。本文の内容をもとに100字以内で説明しなさい。

設問4 ハローワークを経由した就職件数を増やすにはどのような方法が考えられるか。あなたの考えを、その理由とともに400字以内で述べなさい。

以上の4問である。

合計字数が約600字なので大きな負担は無いと思われる。また、設問4は400字以内なので獨協医科大学の間2、また2年前までの聖マリアンナ医科大学の間3の文字数に該当する。3段落構成で書くとよい。

◇次に下線部も確認しておこう。

下線部①「2009年にリーマンショックによる落ち込み後、上昇を続けています」

資料文1枚目の「中略」を挟んだ②段落目。

下線部②「『とりあえず出しとこ』求人」

資料文2枚目の2つ目と3つ目の「中略」の間。

下線部③「雇用統計として計測している範囲がハローワークだけというのは、狭すぎる」

資料文2枚目の最後段落の最後の1文。

◇このように手順を踏みながら、細部と全体を把握すると気持ちが落ち着く。

その1 先に設問要求を確認しているので、下線部③も問4のヒントに出来るかもしれない。(実際に資料文にもっとヒントがある)

その2 「中略」の前後には重要なことが多いので、今回は「中略」が3回もあるので、読解のポイントがわかりやすそうである。

その3 資料文の最後の注釈には「有効求人倍率：全国のハローワークに出された有効求職者数に対する有効求人数の割合を表したもの」とあるので、問1のヒント兼、その他の設問にも活用できそうである。

このような資料文型の手順や読解の基礎は今後の入試にも利用できるはずである。

では、設問を意識しながら、考えていこう。

兵庫医科大学は、資料文を最大限に使うことができる。たとえば、22年度の設問3「自然増」の説明は、資料文の「中略」後に出て来る「自然減」をひっくり返して表現することで説明出来る。その他の問も、しっかりと読解すれば解答が出来てしまう。今回の問4や、22年度の問4も、環境的に周囲に該当者がいないとしても、社会の一員として他者の現状について考えることの大切さが問われているのではないだろうか。

設問1では、1段落目に「有効求人倍率が2018年と2019年が1.5倍と1.55倍」だと書いてくれている。また、注釈にはハローワークに出された有効求人倍率の説明がある。さらに、資料文の第1段落目に、「人手不足」と言われて久しいが、2018年度は正社員の有効求人倍率は、集計を始めた2004年以降で最も高い1.13倍、パートタイマーを含めた全体は1973年以来の高水準で1.62倍とある。

そして、1段落目の後はすぐに「中略」となっている。(中略の前後は大事である)

その「中略」の後には図1(有効求人倍率の推移)と、図2(有効求人数、有効求職者数、就職件数の推移：年平均)があり、いずれも1975年から2015年までの増減がわかる。(数値はない)

文中には、「2009年のリーマンショックによる落ち込み後、上昇を続けていますから」とあり、図1を見るとちゃんとその急上昇ぶりがわかる。それらを参考にして、2020年以降を考えると、新型コロナ禍ショックで落ち込むのではないかと推定できる。

これは、23年度の設問4もコロナ禍を考えると解答できる。

(実際に厚労省の発表では2023年10月の有効求人倍率は1.16倍低くなっている。)

設問2は下線部②と同様の内容を示す言葉を「文中から4文字で」とある。3つ目の中略の後、資料文の最後の方に「『とりあえず出るところ』求人」と似ている「○○求人」があるので探してみよう。

設問3は、資料文に「もはや民間経由で職を決める人が多くなっています」とあるので、民間データの活用なども入れるなどの提案につなげてみよう。とにかく資料文を活用する。

設問4は特に資料文の以下の部分を参考にして、自分の意見を加えるとよい。

- ・1枚目の最後から2行目に「そもそも求人媒体としてハローワーク昇華は魅力的でしょうか」
- ・2枚目の冒頭から「求人1件に対する就職件数は0.10・・・2017年からは0.05・・・そんな媒体に企業が求人を出し、求職者が足を運ぶ理由は何でしょうか」とある。
- ・その後に「とりあえず出しとこ」求人や、求職者側の問題が述べられている。

これらの部分をヒントにして双方がもっと積極的にハローワークを活用するには、資料文に書いてある実態を逆に使うと、就職件数を上げたり、失業保険目当てではないハローワークの活用が求められるということが言える。だが設問3でも指摘したように、「もはや民間経由で職を求める人が多くなっています」とあるので、設問3にいかすだけではなく、ネット時代であることも踏まえて考えて見る。

企業と利用者が情報と応募を早くできることや、求人する職種の広がり等、民間の良さをいかすことなどを提案してみる。一方資料文にはないが、高齢者も働く時代であるし、ネットなどの環境の良くない人も求人に応募しやすくするために、窓口や電話相談なども活用しやすくするなどハローワークだからこそ出来るサービスを加えても良い。

以上、時間内に書くには資料文をヒントにし、以上のように取り組み方をすると平凡だが着実に解答を記入していくことができる。

以下に過去問の傾向を紹介しておくので参考にしてほしい。

共通テスト導入後から各大学の小論文の傾向に変化が見られた。特に図表が入るなどの特徴である。その点、兵庫医科大学は元から資料文は長目で、図表が含まれている年もあり、また設問数も多いという特徴があり、大きな変化はない。

以下の出典や設問をみると、本年度も含めて社会的な課題や問題が問われている事に気づく。大学の意図は不明であるが、それぞれ興味深い資料である。特に22年度の東京都豊島区については、池袋駅という世界的にも乗降客がトップ(1位ではないが)駅があり、周辺にはデパート(最近デパート無し県がニュースになっているほど)や商業ビル、家電量販店、ホテル、劇場、大学などを有する。その区が、東京23区の中で消滅可能性都市というのは驚くが、兵庫医科大学で出題された意外性も大きかった。(神戸市も人ごとではないからだろうか。)

兵庫医科大学：(一般)

2023年：設問5問

資料文A4で1枚半

設問1 下線部①の「そうした消費者の◇経験」都は何か。60字以内で説明しなさい。

設問2 下線部②について、ネットスーパーの写真が、「食堂の入り口に置いてある食品サンプルに似た苦悩を果たすものだといえる」のはなぜか。80字以内で説明しなさい。

設問3 下線部③について、ネットスーパーにおいて、「食品の中でも特に、野菜、精肉、鮮魚などの生鮮食品を自分の目で見られないことがネックになっている」野はなぜか。あなたの考えを80字以内で述べなさい。

設問4 本文の続きで、2020年以降、ネットスーパーを利用する人が国内外で増えている事が示されている。その理由についてあなたの考えを30字以内で述べなさい。

設問5 ネットスーパーは、社会において今後どのような存在になると考えられるか。日本の社会儒教を考慮した上で、あなたの考えをその理由とともに400字以内で述べなさい。

「視覚化する味覚—食を彩る資本主義」 久野愛 岩波新書 2021年より 一部改変して引用

2022年：設問4問

資料文（図1～図3）設問を含めてA4で3枚。

NHKスペシャル取材班「縮小するニッポンの衝撃」2017年講談社現代新書より改変して引用

設問1 豊島区が「消滅可能性都市」に挙げられた理由を、100字以内で説明しなさい。

設問2 図2と図3は、豊島区の転出乳世帯数に関するデータである。図2と図3を総合して判断できることを、50字以内で述べなさい。

設問3 「自然増」とはどういう状態か。50字以内で説明しなさい。

設問4 本文の続きには、豊島区外からの転入者のうち、20代単身者の平均収入が241万円であることが示されている。その事を考慮し、豊島区の人口が自然増に転じる方策としてどのようなものが考えられるか。あなたの考えを500字以内で述べなさい。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！  
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p><b>渋谷校</b></p> <p>☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p><b>名古屋校</b></p> <p>☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p><b>大阪校</b></p> <p>☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 <b>麹町校</b></p> <p>TEL：050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p><b>ビッグバン京都校</b></p> <p>TEL：075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360</p>	<p><b>医特塾 阿佐谷本校</b></p> <p>TEL：03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>